

鉄と鋼

Journal

Japan



主 要 目 次

新年のご挨拶—1988 年	1
昭和 62 年鉄鋼生産技術の歩み	3
鋼の加工熱処理における基礎過程	18
ISO/TC 102 (鉄鉱石) の活動	36
エレクトロニクスにおける鉄鋼材料の現状と動向	42
レオキャスト技術の現状	51
FeO を含有するスラグによる高炭素濃度溶鉄中 シリコンの酸化反応	61
溶鉄の脱窒における界面抵抗	69
高炭素溶鉄の脱炭時のヒュームの生成機構	76
シリコマンガ製造電気炉におけるメタルガイドモデルの開発	84
水平連鑄法によるミニスラブの鑄造	91
厚鋼板の直接焼入冷却方法の開発	99
制御圧延鋼における Ti 添加の冶金的効果と 機械的性質に及ぼす影響	107
焼結 Ni 基超耐熱合金粉末押出し材の超塑性挙動と 最適加工プロセス	115
超塑性加工に適した Ti 合金の設計	123
硫酸塩浴からの Zn-Fe 合金電析挙動に及ぼす pH, 攪拌の影響	130
溶接可能塗装鋼板の耐食性におよぼす下地垂鉛めつき層の効果	137
加工性, 耐食性のすぐれた溶接可能塗装鋼板の開発	144
低合金鋼の高温延性におよぼす切欠形状の影響	151
低炭素アルミニウムキルド鋼板の過時効過程の 電気抵抗-熱電能測定による検討	159
直接焼入れ-焼もどし法における 80 kgf/mm ² 級 高張力厚鋼板の焼入性とボロン分布の関係	167
高強度チェーンのフラッシュ溶接部の欠陥	175
太径チェーンの大気および海水中における疲労強度の推定	182

NO.
VOL. 74
JAN. 1988

Price:

鉄鋼協会

Steel Institute of Japan
Kaikan, 9-4, Otemachi-1-Chome
Niyodaku, Tokyo, Japan